

ベトナム フエを拠点としたASEAN諸国への展開

本実証調査を通じて、フエ地域では隣国ラオスとの関係が非常に密接である事が明らかとなった。ラオスは、医療環境はベトナムより劣っている。地方病院のみならず、首都ヴィエンチエンの大学病院においても十分な医療器材が揃っていないのが現状である。医師を希望する学生は、フエを中心にベトナムに留学する学生も少なからずいる。フエ工医科薬科大学では、ラオスからの留学生に対して1年間ベトナム語を学習させ、その翌年より医学部の学生として授業を受けさせている。それでもラオスからの留学生は後を絶たず、如何にラオスで医療を学ぶインフラが整備されていないか、十分に想像できる。

また、カンボジアについてもラオス同様、医療環境が良いとはいえない。カンボジアの医師を希望する学生は多数、隣国タイとベトナムへ留学しているのが現状である。

今後、ラオス・カンボジアの医療レベルの向上のためにも、フエを拠点とした内視鏡センターにラオス・カンボジア両国の医師受け入れる事で、将来的に日本製医療器材の輸出拡大が狙える可能性があると考えている。